



コミュニティ・ yoshikawa-sho スクール 通信

Vol.8

発行日: 令和5年 11月 22日

ふるさとありがとう 集会 開催

11月2日(火)、児童会が主催する「ふるさとありがとう集会」が開催され日頃から子ども達がお世話になっている12名の地域の方々が、お忙しい中ご出席くださいました。

今回のありがとう集会は、子ども達の「もっと地域の方々と交流できる会にしたい」という強い思いから昔遊び(けん玉・お手玉・駒)・ペタンク・かるたをして地域の方々と一緒に遊ぶ時間が、新しく設けられました。なかよし班ごとに、地域の方々と3つのコーナーを順番に回っていきます。



子ども達は、地域の方々に遊び方を教えてもらいながらお手玉やけん玉遊びを楽しみました。中でもペタンクのコーナーは大いに盛り上がりました。子ども達の中には、初めてペタンクに挑戦する子も多く、予想外の動きをするボールゲームに夢中になっていました。とても温かい時間を過ごすことができました。お越しいただいた皆様、残念ながら欠席だった皆様にも、子ども達の感謝の思いが届いていると嬉しいです。

山と親しむ会 開催

ありがとう集会終了後に、山と親しむ会が行われ、全校児童で長寿の森へ出発しました。今回も長寿会の皆様に大変お世話になりました。朝のありがとう集会から、長時間お付き合いいただき、本当に感謝しております。

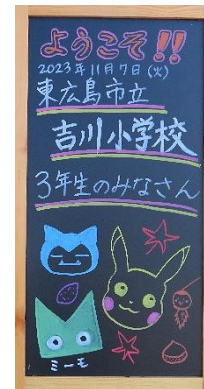
到着後、長寿会の方の案内のもと、森の中をなかよし班ごとに歩きました。子ども達は紙の原料になる雁皮をさわらせてもらい、その丈夫さに驚いていました。昼食後は、1~3年生は長寿の森で秋見つけ、4~6年生は槌山登山に挑戦です!!その日は11月とは思えない暑い日で、昼を過ぎるとぐんぐん気温も上がってきた中での登山でした。皆で必死の思いでようやく頂上に到着したころには、水筒が空になっている子も続出しました。かなり過酷な環境の中、誰ひとりリタイヤすることなく、全員無事に帰ってくることができ改めて子ども達の体力・精神力に感心した1日になりました。引率した教職員(若手を除く)は、この登山の影響が当日・翌日・翌々日に響くこととなり、3連休に深〜く感謝したのでした(^_^)



3年生の校外学習

吉川小学校のお宝を広めよう
~調べて伝えよう(総合的な学習)~

11月



11月7日に見学に行かせて頂いた三井開発さんではとても貴重な体験をさせていただきました。3年生が事前に考えてきた質問にも答えて頂き、三井開発さんの仕事内容について多くのことを学ぶことが出来ました。

① 高圧洗浄車の実演



② 「ダンパー」(強力吸引車)乗車体験



③ 作業で使用されるカメラや浄化槽の内部の説明



10月25日、なんじゃもんじゃの会を訪れその歴史について、村主さんに教わりました。

「なんじゃもんじゃの会」は2001年当時中国電力にお勤めだった村主さんが、自然環境を考える会社の取り組みとして炭づくりを始められたことをきっかけに発足、会の名前「なんじゃもんじゃ」とは「どういことかな?(わからないこと)」という意味で、一つ一つ物事を解決していく=課題解決という意味があるそうです。炭窯は2001年9月から1か月ほどで完成、「夢双窯」と名付けられました。



10月

10月20日、吉川の田んぼの中の飛行機について知るため田島運送さんを訪れ田島社長にインタビューしました。飛行機は1995年(平成7年)に別府からこの地に運ばれました。運送会社の総会で別府を訪れていた当時の社長が空き地に飛行機があるのを見つけ、所有者と交渉の末、譲り受けたものだそうです。子ども達からの「飛行機を置いて良かったことは？」との質問に、社長さんは「みんなの目印になっている事がうれしい。吉川の飛行機がある所と言えばすぐわかってもらえるから」と答えていました。お忙しい中ご協力頂きありがとうございました。



第3回 学校運営協議会 開催

11月16日、第3回学校運営協議会を開催しました。会の前半に授業参観をしていただき、各クラスの様子を見て頂きました。「子ども達が落ち着いて授業に参加出来ている」とご感想を頂きました。後半は、学校運営の評価及び取組報告をさせて頂いたのち、委員と教職員で意見交換を行いました。これまでの運営協議会は理科室で机そのままの形で行っていましたが、委員の角谷さんより「より良い会議にしていけるためにも机を囲む形で会議ができないだろうか」とご意見を頂き、初めて口の字型で会議を行いました。小さな変化ではありますが、委員と教職員が顔を合わせ、輪になって話をすることで、和やかな雰囲気の中で、気持ちも近く会議を進めることが出来たように思います。今後もぜひ続けていきたいと思ひます。

